

事業別戦略



医療用医薬品等卸売事業

医薬品等の安定供給機能を
磨き上げるとともに、新しい価値を
生み出し社会に貢献します

株式会社メディカルホールディングス
取締役副社長 医療事業担当

長福 恭弘

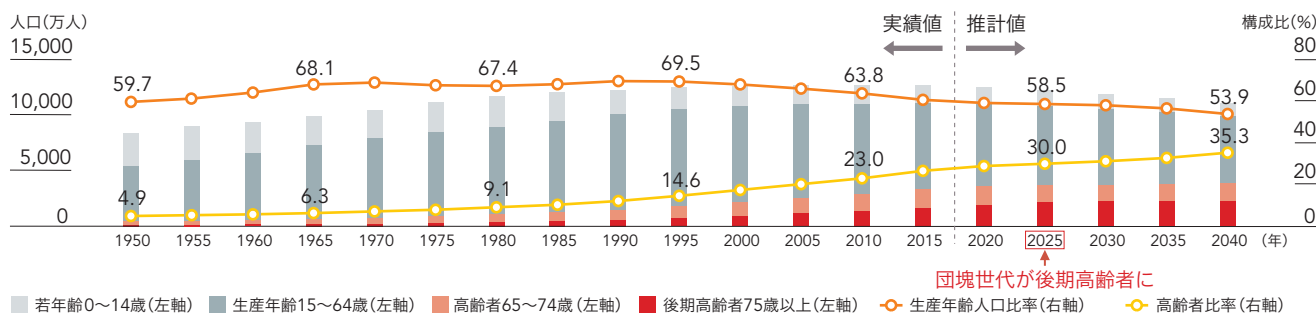


医療用医薬品等卸売事業では、医療用医薬品をはじめ、医療機器・医療材料・臨床検査試薬など未病から、診断、検査、治療、投薬に至るまで医療に関わる商品を、高機能物流センター ALCやお客様に近い場所に設置したFLC*など全国216拠点に及ぶ万全な物流体制により、病院・診療所や調剤薬局など23万軒の医療機関に安定供給しています。また、MR認定試験に合格した社員（AR）は、2,500名を超えました。これは国内大手製薬企業のMR数と比較しても最大規模です。ARは、今後の企業成長を見据えて取り組むPMSやPFM®など新規事業拡大の原動力となっています。

▶ SWOT分析

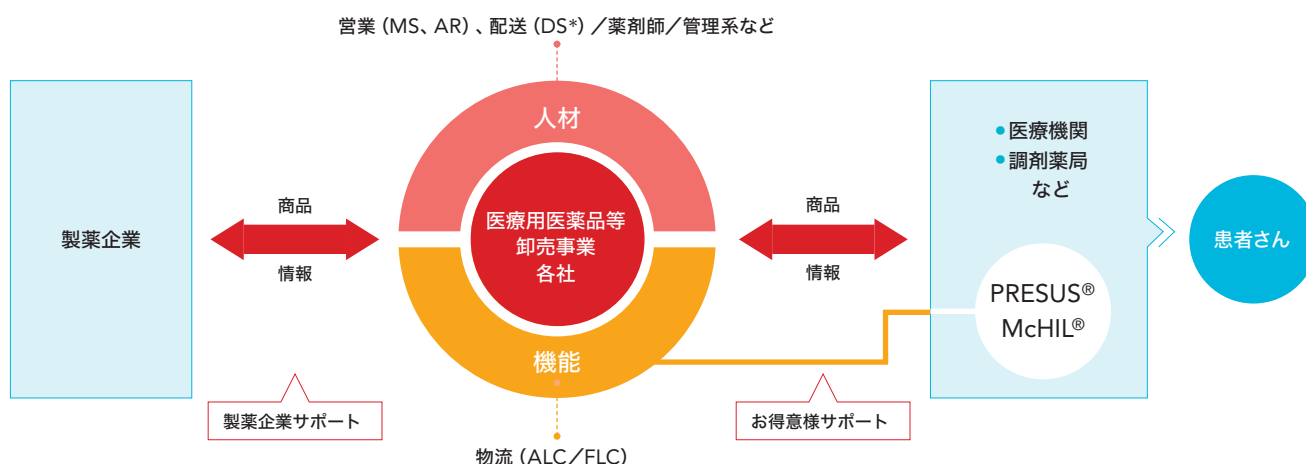
- 高機能な全国物流プラットフォーム（ALC／FLC） - 専門性を有する人材（AR、DMR*など） - さまざまなリスクを想定した事業継続計画（BCP）	- 公的制度に左右されない収益構造の構築 - 生産性のさらなる向上
- 高齢化による医療ニーズの増加 - スペシャリティ医薬品の拡大 - 製薬企業のMR数減少 - 持続可能な社会をめざした動き - オンライン診療の拡大	- 労働人口の減少 - 医療費抑制策の推進 - 自然災害・感染症の発生

▶ 事業環境の変化（将来推計人口）



出所：厚生労働省資料参考のうえ、当社作成
2015年までの実績値は総務省統計局「国勢調査」、それ以降の推計値は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成29年4月、出生中位・死亡中位推計）

▶ バリューチェーン



製薬企業サポート

ARが、その高いスキルを医師や医療従事者の方々との面談に活かし、治療に有用な情報を提供しています。また、製薬企業からPMS業務を受託しています。さらに、早期の開発が期待されている希少疾病用医薬品等に当社が投資を行い、上市が実現した際は投資に対するリターンを得るとともに、医療機関への販売・流通を優先的に行うビジネスモデルであるPFM®を行っています。

お客様サポート

ALCの機能とノウハウを活用した調剤薬局業務サポートシステム「PRESUS®」や病院内の物流業務サポートシステムである「McHIL®」により、お客様である医療従事者の方々に本来業務に専念していただける時間と環境を提供しています。

事業環境

医薬品業界においては、薬価の引き下げや新型コロナウイルス感染症の流行による影響はあったものの、受診抑制などが徐々に回復したことで、市場全体は前年同期と比べ伸長しました。

2022年3月期は、新型コロナウイルス感染症関連の臨床検査試薬などの需要が増加したことや、調剤薬局市場において、新たな医薬品流通最適化モデル構築に向けた取組みを協働で推進したことなどにより、売上高は堅調に推移しました。持続的な成長に向けた構造改革の一環として、配送回数・発注の締め時間の見直しや人員の適正化により、販管費の抑制に努めました。



* 用語説明は、P.82の用語集をご参照ください。

事業戦略

成長戦略

「2027メディカル中期ビジョン」のもと、下記の成長戦略に取り組んでいきます。

1 新たなグローバルビジネスに挑戦 「海外への進出」

- パートナーであるJCRファーマ(株)との連携による新たな事業の展開
- 中国においては、協業先である国薬ホールディングスとの関係を強化

2 市場拡大・高度化に対応する 「予防・未病領域の 事業拡大」

- 検査・試薬分野の市場拡大・高度化に対応した最先端の検査機器・試薬などの取扱商品の拡大
- 予防歯科分野への進出

3 ヘルスケアのデジタル プラットフォーム構築と収益化の推進 「デジタルを活用した ビジネス基盤の強化」

- パートナーとメディカルグループがそれぞれに有する経営資源を組み合わせ、国内トップレベルの新たな事業の創出

4 新しい物流モデルの構築 「持続可能な流通の構築」

- H.U.グループホールディングス(株)との物流合併会社(株)メディスケットを設立。両社の物流を集約することで、物流機能を向上させるだけでなく、「医療と健康、美」を支える国内最大の検査・診断・治療のヘルスケア物流プラットフォームの構築を加速するとともに、グリーン物流による社会課題の解決など、ヘルスケア業界の新たな価値創造をめざす
- 神栄(株)をはじめとした高度な温度と振動などのモニタリング技術を有するパートナーとともに、新たな医薬品流通最適化モデルを構築
- お得意様との協議により、在庫量を分析・管理することで受発注・配送回数の最適化に取り組む
- AI・ロボット技術を活用した物流システムの高度化により庫内・配送業務を削減

5 地域のヘルスケア課題を 解決することで社会価値を創造 「地域医療における 価値共創」

- 地域の顧客、医療機関、自治体などが抱えるヘルスケア課題を抽出し、その解決策を提案する地域医療コーディネーターを設置
- 地域の顧客の課題解決策と取引のある企業の課題解決策を調整し、協業提案も実施

課題認識と今後の方向性

社会保障制度改革やポストコロナの持続可能な社会の確立などを背景に、薬価基準制度の改革や医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）の改正、データヘルス改革などが推し進められています。また、エネルギー価格の大幅な上昇への対応は喫緊の課題となっております。

そのような中で、ALCの高度な物流機能の活用などにより、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を図り、卸機能を最大限に発揮するとともに、環境負荷の軽減に向けた取り組みも行っています。

2023年3月期においては、医療用医薬品等の安定供給を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症関連商品をはじめ、新型コロナウイルスワクチンや臨床検査試薬等の流通を担い、医療に貢献していきます。ARによる情報提供活動や製造販売後調査（PMS）の拡充、医療機器や臨床検査試薬の販売強化、デジタルヘルスケア分野での取り組みをさらに加速させ、収益基盤の強化に努めていきます。あわせて、物流のモーダルシフトや配送回数の適正化を進めることにより、環境に配慮した流通を推進していきます。

FOCUS

(株)メディスケット「医療と健康、美」を支える国内最大のヘルスケア物流プラットフォーム

2022年4月に、当社とH.U.グループホールディングス（株）の両社の合併会社である、（株）メディスケットを設立しました。メディスケットは、医療用医薬品等卸売事業と受託臨床検査事業の物流を融合することによって、医薬品・検査資材などの供給と臨床・治験・研究などの検体の集荷を最適化することに加え、GDPガイドラインに準拠した高品質な物流サービスを提供していきます。

また、第三者が所有権を持つ物品を取り扱う、さまざまなヘルスケアに関わる企業の参画を促進します。さらには、社会からの要請である温室効果ガス排出量削減など地球環境への課題解決をより早く実現し、社会に貢献します。

メディスケットは、単に物流の融合による効率化を求めるだけではなく、外部企業からの物流受託を行うことで新しい収益機会を創造します。「2027メディパル中期ビジョン Change the 卸 Forever 〜たゆまぬ変革を〜」の成長戦略の一つである「持続可能な流通の構築」の達成につながる取組みとして、メディスケットの事業を推進していきます。

